

No	委員	カテゴリ	意見	方針
1	佐藤委員長	基礎資料	他自治体の取組も含めて、議論の内容等をこのようなかたちで蓄積していくような仕組みが初めてである。委員会の議事内容の可視化という意味で非常にいい取組である。	今後も引き続き委員会を重ねる中で、議論の可視化に取り組み、できる限りわかりやすい資料作成を目指す。
2	稲垣副委員長	基礎資料	庁内で機動的、効率的にバリアフリーの取組を広げていくうえで、市職員の間で共有を進めるうえで有効な資料である。	委員会で使用する基礎資料についても、庁内委員会、ワーキング会議においても共有します。
3	植村委員	生活関連施設	グループホームは「居住する家」以外にも各地区に多くあるので確認してほしい。また、わくわく武蔵野についても検討してほしい。	高齢者福祉施設及び障害者福祉施設については、入居施設は除き、通所施設は生活関連施設に選定することとします。所管課にいただいた意見もふまえて調整し、生活関連施設を選定しました。
4	小林委員	生活関連施設	資料5-Fについて、因ての吉祥寺北コメセンの位置が異なる。	修正します。ご指摘を踏まえ、各施設の位置を改めて事務局にて確認いたしました。
5	稲垣副委員長	重点整備地区範囲設定	資料5-Bについて、三鷹駅周辺重点整備地区を2つに分ける項目に違和感がある。吉祥寺駅も武蔵境駅も中心から500m圏域となっており、三鷹駅も同じような考えをするならば、中央図書館や市民文化会館等は市役所周辺に含める方が、市民生活の実態と馴染みがある。	エリア分けは施設の方向性に影響を与えるものではないと考えています。表現についても、三鷹エリアの中にエリア1、エリア2とするようなイメージで、掲載ページを分割するような表現にならないよう配慮します。エリア分けの考えのメリットは、三鷹駅周辺を中心に置き、三鷹市、市役所周辺を中心に置き、西東京市との連携をわかりやすく表現できるという点にあります。委員会の議論を踏まえ、五日市街道で、駅周辺と市役所周辺のエリア分けを行うことといたします。
6	小林委員	重点整備地区範囲設定	市民文化会館が利用するのバス停は五日市街道の北側や南側にあるので、道路で切れるのは難しいところがある。市民文化会館には市民以外の方もかなりの道を通って利用されているので、北側は市役所、市民文化会館等のほか文教施設とする方が、考えとしては整理しやすいのではないか。	
7	早川委員	重点整備地区範囲設定	一からサミットタイムズは、事務局の示す文教地区の一部であるが、そこも性格付けが違っている印象がある。	
8	植村委員	重点整備地区範囲設定	エリアを別にする資料も別にならなくていい可能性があるため、五日市街道で分けたいが今後の議論も含めていいのではないかと感じる。	
9	稲垣副委員長	重点整備地区範囲設定		
10	稲垣副委員長	重点整備地区移転等促進地区小中学校ゾーン	資料5-Eについて、小中学校ゾーンのうちどこを優先的に整備を進めていくか、その優先順位をどうするか、また、中心校として進んでいくのであれば、資料5-Fのコミセンゾーンのように中央が濃く少しくずつくなるような概念が小中学校にも当てはまるのではないかと。	小中学校ゾーンは、通学路として指定された特定の道路の中で、おむね学区の範囲となる半径500mの範囲にある道路を選定し、優先的に整備を行っていくイメージとし、表現しています。一方、コミセンゾーンは、コミセンの利用促進による不特定の経路すべてを含む範囲を「エリア」と捉え、その範囲に絞った整備をイメージしています。
11	稲垣副委員長	移転等促進地区コミセンゾーン	資料5-Fについて、「コミュニティゾーン」は、生活道路の交通安全対策の中で定義されている言葉のため、混乱を招かぬために表現は変えたい方が多い。	※36参照 「コミセンゾーン」に表現を変更します。
12	植村委員	事業・テーマ別方針公共交通事業(バス編)	乗降場の確保上、努力しても適切に対応できない箇所があるという意見が乗降バスの運転手のアンケートであった。また、車道で乗降するような停留所では、車いすでは歩道に上がれない段差があるという意見を挙げている。	※37参照 いただいた意見を集約して、事業者と事業計画の調整の際にお伝えしました。
13	佐藤委員長	事業・テーマ別方針公共交通事業(バス編)	バス事業者に関する情報提供として、三鷹市において京王バスと三鷹市の自立支援センターが連携してバス乗降手向けの導盲デバイスを作ったという活動があった。基本構想づくりの中で、障害当事者と事業者が連携した活動を自主的に進めたいという当事者や事業者と共有し、自治体のついでに、吉祥寺駅周辺においても事業者と障害当事者をつなぐ活動を考え、それが教育啓発活動にもつながるといったようなストーリーを挙げたい。	事業者と当事者の連携や、当事者の参加については、今回の改定中の議論の一つとして取り上げたい。
14	植村委員	事業・テーマ別方針道路事業	視覚障害者誘導用ブロックの整備について、歩道に植え込みがあったり歩道に段差がある歩道の歩道に歩道に段差があるという意見があった。	市内の道路にはバリアフリー上の課題となっている箇所もありますが、継続した点検と適切な維持管理が重要と考えています。特定事業の検討にあたっては、新設・拡張整備だけでなく、既設の路線の課題について、維持管理等の視点での丁寧な対応が重要と考えています。
15	稲垣副委員長	事業・テーマ別方針道路事業	ベンチは迷惑施設にもなりうるものなので、合意形成に工夫が必要である。世田谷区の手例では、ベンチとしてではなく、休憩しながら歩く方が利用できるような、少し腰を掛けられるようなつくりのものを、ネットワーク経路に整備するようガイドラインがある。	ベンチ設置の際の工夫については世田谷区の手例を確認し、参考とさせていただきます。
16	佐藤委員長	事業・テーマ別方針建築物事業	小規模施設のリニアについて、国土交通省で基準の緩和に関するパブリックコメントが行われている。これまで、2,000m未満の建築物の施設については、新設の場合は基準適合義務、既存施設でも努力義務として課せられるようになったが、今後は、2,000m以下の施設に同じ基準を課するということも考えられている。500m程度であれば基準を緩和しようという内容である。これはバリアフリー条例を策定する際の考え方として示されているが、生活関連施設の特定事業化の中でも併せて考慮する必要がある。	生活関連施設の特定事業化にかかる事業者との協議や、事業の方針の記載の上で、参考とさせていただきます。
17	植村委員	事業・テーマ別方針建築物事業	音響信号機について、視覚障害者の方から文化福祉会館前の信号機について、聞こえるときと聞こえない時があるという意見があった。	いただいた意見を集約して、事業者と事業計画の調整の際にお伝えしました。
18	稲垣副委員長	事業・テーマ別方針情報伝達事業	せいか整備されたものが、どのように運用するか当事者に伝わっていないことがある。特に、交通安全施設に関しては情報がいきわたっていない可能性があるため、そういったところも考えていかなければならない。	いただいた意見を集約して、事業者と事業計画の調整の際にお伝えしました。
19	稲垣副委員長	事業・テーマ別方針情報伝達事業	視覚障害者誘導用ブロックやシンガポールなど、これまで様々な対策が進んできたところであるが、今後は、整備・敷設したものが当事者にちゃんと伝わっているかという点も当事者との連携が重要になってくる。	整備した後の点検・維持・評価の視点も、基本構想の中で大切にしていきたい。
20	小林委員	個別課題公共交通(鉄道)	JR中央線のホームドアについて、吉祥寺駅と武蔵境駅は中央線特別快速がすべりやすいので、三鷹駅よりも先に吉祥寺駅・武蔵境駅の整備を望みたい。	いただいた意見を集約して、事業者と事業計画の調整の際にお伝えしました。
21	井原委員	個別課題公共交通(バス)	バスに乗るとき、車いすの荷物が乗っているか確認やヘルプなどをやってもらえない、やらない方が多いという当事者もいるが、やらないと危険なので対応を検討してほしい。	いただいた意見を集約して、事業者と事業計画の調整の際にお伝えしました。
22	稲垣副委員長	個別課題公共交通(バス)	バス車内の乗降について、国土交通省の自動車安全政策策定において、そもそも乗降する方が少ない、含まれていないというところも考慮されている。そういった議論を横目に市で出せることは何か考えていければよい。	国の議論も注視しつつ、バス事業者との調整を進めます。
23	井原委員	個別課題吉祥寺駅前広場	吉祥寺駅前広場のバス乗降場がいつもどこに停まるかわからない状態である。	吉祥寺駅前広場の乗降場は、乗降場が「中央線」から乗り入れ、北口においては、駅前広場がまだ整備されていない中で、歩道の通り道に8箇所のバス乗降場があり、歩道も狭いといった問題を抱えています。
24	小林委員	個別課題吉祥寺駅前広場	吉祥寺駅のバスの乗降場について検討が行われているが、三鷹駅の南口のデッキのようなイメージはあまり良くない。土地がない中で対応が難しいが、バスがちゃんと止まるように乗降場に確保しないという問題は問題である。	用地買収を伴う駅前広場の整備には長期間を要しますが、着実に進めたいと考えています。
25	小林委員	個別課題福祉(女子大通り)	女子大通りの歩道幅が狭く、車いすも一人で通れない状況であり、早急に対応してほしい。	都市計画道路の拡幅の観点からは、歩行者の安全性を確保することが求められ、既に、生活関連施設及びネットワークの観点から、東京都の第4次事業化計画の優先整備路線に位置付けられていますが、用地買収を伴う事業であり、長期間を要します。事業者である東京都には、事業化による安全性の向上を求めるとともに、沿道地権者への丁寧な対応も合わせてお願いしています。
26	井原委員	個別課題交通安全(吉祥寺駅前交通信号の信号)	吉祥寺駅前交通信号の信号の信号が短く短くわたるのが大変なため、青時間を少し長くしてほしい。	いただいた意見を集約して、事業者と事業計画の調整の際にお伝えしました。
27	井原委員	個別課題情報伝達	以前、市が作成したトレイルの地図がとてよかったです。ぜひまた作っていただきたい。	いただいた意見について、所管課にお伝えします。
28	植村委員	個別課題情報伝達	障がいには、図式化する方が文章や言葉よりも理解しやすいという障害者の方がいるため、なるべく障害特性を加味した案内の工夫をお願いします。	基本構想策定の参考とさせていただきます。
29	植村委員	個別課題教育啓発	今回、「教育」がいくつかの点でキーワードに挙がっている。普通学校だけでなく、特別支援学校、特別支援学級についても支援したいと考えている。	ご意見として承ります。
30	植村委員	個別課題福祉(福祉分野との連携)	外出は生活にとても密着しているが、危険な歩道の踏み出すに勇気がかかるといふ方もいる。この会議での取組や成果に関する情報を丁寧に伝えていくことが不安が和らぐのではないかと。ぜひとも、福祉分野との連携をお願いします。	庁内会議やワーキング会議をはじめ、庁内関係部署と積極的に情報共有・連携を図っていきます。
31	小久保地域支援課長	個別課題福祉(福祉分野との連携)	高齢、障害者それぞれの分野の計画が3年度に1度の改定の時期となっており、前年度に実施調査を行った。そのなかで、駅周辺や公園、バス停にベンチを増設してほしい、自転車は歩道では押して歩きたい等の声も届いた。意見もいただいたので、計画に反映するよう検討を進めている。レモンキャブは、コロナで緊急事態宣言の際には中止しようかという意見も届いた。特約者として確保したいので、もう少し行きやすいようにしたいという対応をしている。ソフト・ハードの両面を充実させて検討を進めたいと考えているので、基本構想でもお願いしたい。	ご意見のとおりです。
32	大田委員	個別課題保健センター	武蔵境、板橋、東町方面から保健センターへのアクセスはとも悪い。1-バスは保健センターに停車しないので、もう少し行きやすいようにしたいと思う。そういったことができないのであれば、タクシーを安く使える等のサービスがあってもいい。	ご意見として承ります。
33	稲垣副委員長	個別課題市民参加	市全域を促進地区として対象を広げていくということになると、市民の声もあふれていくので、積極的に「市民参加」のあり方がとても重要になる。武蔵野市は民度がいいのでそういった人々のボイスがしっかりと出ていくことが重要である。	当事者へのアンケートやヒアリング調査のみならず、パブリックコメント等、幅広い市民の声をきながら改定を行うようにします。

第2回改定委員会後の内部検討及び事業者調整の報告

No	委員	カテゴリ	第2回改定委員会意見 資料番号	方針
34		生活関連施設金融機関	資料3 生活関連施設の考え方	当事者へのアンケート結果から、生活関連施設において利用の多い金融機関を生活関連施設に位置付け、事業者と調整を行う予定です。
35		生活関連施設コンビニ	資料3 生活関連施設の考え方	コンビニエンスストアを生活関連施設に位置付ける検討をしていますが、店舗の入れ替わりが多く事業継続性が低いため、位置づけを行いません。
36		重点整備地区移転等促進地区小中学校ゾーン	資料3 生活関連施設の考え方 資料5-E 小中学校ゾーンに着目した「小中学校ゾーン」(改定案)	学校施設の周辺をゾーン設定することについて、道路事業者と協議を行いました。自治体のロードマップについては、生活道路では限定的な回答を得ています。一方で、学校施設そのもののバリアフリー化を進める観点から、周辺の改修効果の見込める路線などの調査を行うなど、面かつ学校を中心に進めていくことを示すため、ゾーン設定します。
37		移転等促進地区コミセンゾーン	資料3 生活関連施設の考え方 資料5-F コミュニティセンターに着目した「コミセンゾーン」(改定案)	コミュニティセンターは、バリアフリー上重要な施設と位置づけられていますが、前述と同様、生活道路では効果は限定的です。一方、エリアの改修効果の見込める路線などの調査を行うなど、面かつコミュニティセンターを中心に進めていくことを示すため、ゾーン設定します。